

製品名: RAD52 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81573**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	46.2kDa

抗原情報

遺伝子名	RAD52
別名	RAD52
遺伝子 ID	5893.0
SwissProt ID	P43351
免疫原	大腸菌で発現したヒト RAD52 (AA: 269-418) の精製された組み換え断片。

背景

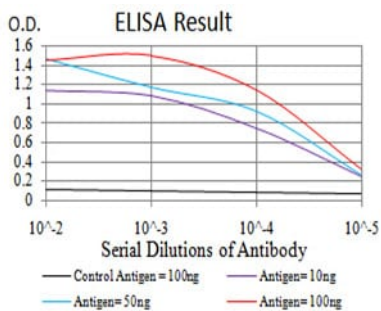
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、DNA 二本鎖切断修復および相同組換えに重要なタンパク質であるサッカロミセス・セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) Rad52 と相同性を示す。この遺伝子産物は一本鎖 DNA 末端に結合し、相補 DNA 鎖のア

ニーリングに必要な DNA-DNA 相互作用を媒介することが示された。また、DNA 組換えタンパク質 RAD51 と相互作用することも明らかにされており、RAD51 関連の DNA 組換えおよび修復における役割が示唆されている。この遺伝子の擬遺伝子は 2 番染色体上に存在する。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが他にも報告されているが、その全長は不明である。

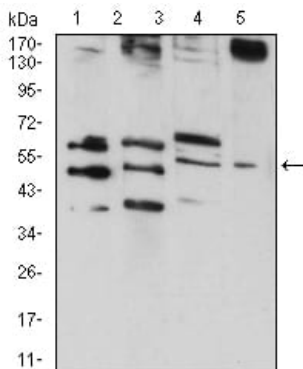
研究分野

-

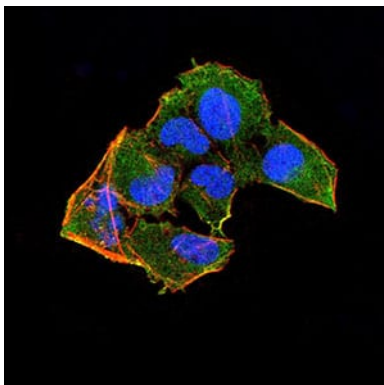
画像データ



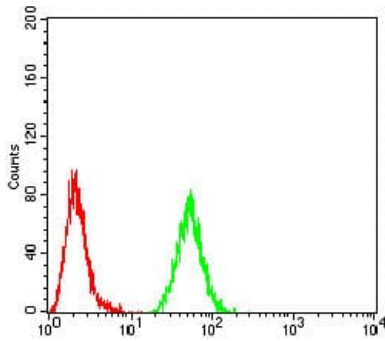
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



RAD52 マウス mAb を用いた HepG2 (1)、MCF-7 (2)、MCF-7 (3)、および C6 (4) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



RAD52 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



RAD52 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した MCF7 細胞のフローサイトメトリー分析。